「観光の足」確保に向けたタクシー利用利便性向上実証実験｜香川県タクシー利用利便性向上協議会　2026/3/11

目的：来訪者が安心・安定できる二次交通の利用環境の整備

- 人口減少・少子高齢化に伴い、労働力人口が減少する中、公共交通の担い手不足が課題となっており、タクシーにおいても、ドライバー不足による供給力不足が懸念される。
- 観光需要が急速に回復する中で、交流人口拡大や旅行消費を生み出す観光は地方創生の切り札として期待される重要な分野であることから、香川県への来訪者が安心・安定して二次交通を利用できる環境の整備を目指した。

事業内容：QRコードによるタクシー手配サービスの提供

【交通サービスの高度化】
- 公共交通機関内や観光施設等において、QRコードをスマートフォン等で読み取り、乗車するタクシーが手配できる乗り継ぎ円滑化サービスと手配円滑化サービスを提供した。

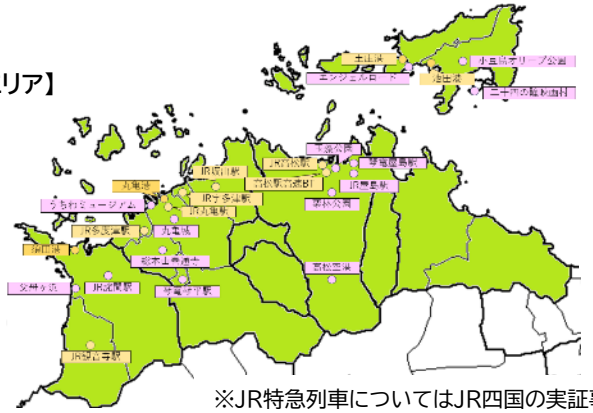
【モビリティデータの取得と活用】
- 本サービスを通じて取得したタクシーの利用者数、配車率等を集計し、利用者動向やニーズを分析した。

【地域交通政策等との連携】
- 主要交通結節点や観光施設におけるタクシーの利用者の動向を把握し、利用者ニーズの分析やタクシー事業者の業務効率化等の検討に繋げた。また、香川県地域公共交通計画との整合性を確保しつつ実証実験後の取組方針を検討している。

効果

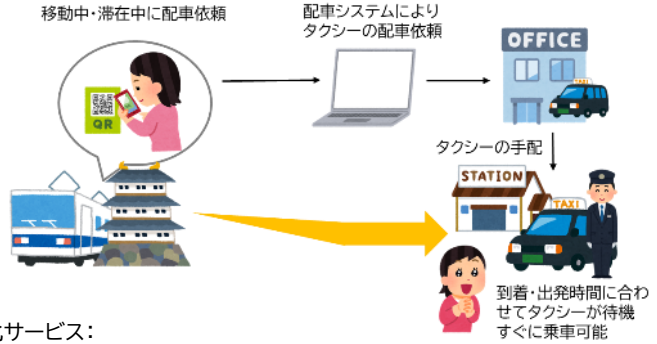
- 課題：主要交通結節点や観光施設においてタクシー車両の待機がなく、円滑な乗り継ぎが困難な地域が存在する。
- 効果：主要交通結節点や観光施設において迷うことなくタクシーを手配することができ、香川県への来訪者が安心・安定して二次交通が利用できる環境を整えるとともに、待ち時間などの乗り換え負担や目的地までの二次交通の乗り換え回数を減らしたいという利用者のニーズに応えることができた。

【実施エリア】



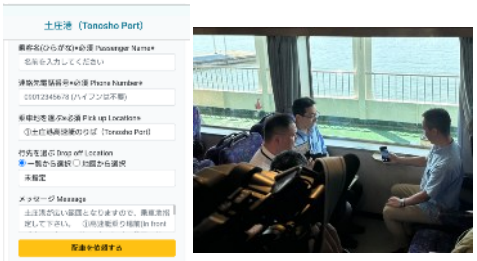
※JR特急列車についてはJR四国の実証事業と連携して実施
（特急列車内からタクシーを手配するサービスは当該実証事業において提供）

【本事業の取組の全体像】



乗り継ぎ円滑化サービス：
　乗車中の公共交通機関からQRコードを読み取りタクシーを手配
手配円滑化サービス：
　観光施設の案内所や駅等からQRコードを読み取りタクシーを手配

【手配依頼フォーム画面・デモンストレーション取材の様子】



【父母ヶ浜・高松空港掲出のポスターとサイネージ】



MLIT
Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	主要交通結節点でタクシー車両の待機が無く、円滑な乗り継ぎが困難な地域が存在するため、香川県への来訪者が安心・安定して二次交通が利用できる環境を整備する必要がある。	一次交通（高速バス、旅客船等）の車内（船内）で乗り継ぎ円滑化サービスを提供することで、来訪者がタクシーを利用し易い環境整備が進み、タクシーの待ち時間など乗り換えの負担や二次交通利用による目的地までの乗り換え回数を減らしたいニーズに応えることができた。
2	香川県内の周遊観光を促進するために、目的地から次の目的地へのスムーズな移動手段を確保する必要がある。	観光施設及び観光施設近隣の交通結節点で手配円滑化サービスを提供することで、来訪者が観光施設等でタクシーを利用し易い環境整備が進み、タクシーの待ち時間を減らしたいニーズに応えることができた。
3	ドライバー不足によるタクシーの供給力不足が懸念されており、タクシーの利用動向を把握した上で持続可能な手法を検討する必要がある	取得したタクシーの利用者数、配車率等の利用実績データを分析することで、二次交通としてのタクシーに対するニーズを把握し、香川県におけるタクシー利用利便性向上に向けた今後の取組の検討に活用した。

KPI

【凡例】 赤字：目標達成　青字：目標未達成

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度・回数	事業実施年度の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	タクシー手配Webフォームの利用者数　※1	Webフォームのアクセス数	データベースを確認	毎月	8,500回 ※前年度JR四国の実証を参考に設定	1,755回	前年度、JR四国が実施した実証実験に比べ、タクシー予約のQRコードの広告の掲出数が大幅に少ないことや視認性が低いから、利用者の目にとまる機会が少なく未達成となった。
2	タクシー手配者数　※1	配車依頼数	データベースを確認	毎月	400回	301回	旅行前の来訪者への訴求が不足していたことにより、タクシーの利用ニーズを十分に取り込めなかった。
3	配車依頼が実配車まで至る数　※1	配車数	データベースを確認	毎月	250回	165回 231回　※2	配車数は、予約依頼数が目標に達しなかった影響で、目標値を下回った。なお、予約依頼数に対する実配車数に基づく配車率は、目標を上回る率で実施することができた（目標62.5%　実配車率76.7%）

※1高松市外の交通結節点（一部JR駅除く）及び観光施設での測定結果
※2タクシー会社にヒアリングを行い、システム上はNGとしたものの実際に配車に至った件数を記載。

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.